

ジェイテクト商品開発の方向性について

— The Direction of JTEKT Product Development —

常務取締役
宮崎博之
H. MIYAZAKI



ジェイテクトは「社会の信頼に応え、モノづくりを通じて、人々の幸福と豊かな社会づくりに貢献する企業」を目指して自動車部品事業、軸受事業、および工作機械・メカトロニクス事業を展開しています。

その源となるのは、市場ニーズやお客様のニーズに的確に応える技術開発と商品開発です。

これまで、軸受事業や工作機械事業で培ってきた基盤技術の深化、ステアリング事業と駆動事業の技術のシステム化、さらにはこれらの技術の融合により、先端技術開発に挑戦してきました。例えば、自動車部品事業の根幹である電動パワーステアリングや電子制御カップリングは、「快適・利便」に加え「環境・効率」「安全・安心」のニーズに対して信頼性の高い設計、高度な制御技術の適用、世界最先端の加工技術を駆使し、商品を進化させています。

今後もジェイテクトグループの総合力を発揮し、トライボロジー、材料開発、熱処理加工、精密加工、電子制御など、さまざまな領域にわたる基礎技術をさらに深化させ新しい製品開発やモノづくり革新を進めていきます。また、産業のボーダーレス化が進む中、事業領域の拡大に向け、モビリティ、インフラ、エネルギー、ライフ、ファクトリの5分野への取り組みを強化しています。モビリティ分野では、EV化、FCV化に対して、小型・軽量・低摩擦の追及、周辺部品との融合・モジュール化提案や制御技術の展開による自動車部品総合メーカーへの進化、インフラ分野では、自動車で培った高効率、高信頼性技術の産業機器への展開、ユニット商品提案や

破損予知診断などのサービス提供による幅広い提案、エネルギー分野では、風力発電など発電設備への環境対応商品提案やスマートグリッドへの参画、ライフ分野では、医療機器、ロボットへのセンサ技術、先端加工技術の展開とユニット商品提案、さらに、ファクトリ分野では、工作機械、要素機器、制御技術を進化させたトータルシステムの提案、省エネルギー・エコロジーを追及したスマートファクトリへの進化などにより、将来につながる事業拡大を推進しています。

今回のJTEKT ENGINEERING JOURNALは小型・軽量化関連技術の特集としましたが、これらの開発は単に省エネルギー化に対応する商品開発というだけでなく、小型・軽量化により、周辺部品の設計自由度を向上させ、より多くのアプリケーションにお使い頂くことを可能にして社会に貢献できることを目指しています。

世界経済の低迷と日本経済の混乱からようやく脱却できる兆しが見え始め、ジェイテクトも価値ある技術開発と商品開発を加速・充実させ、企業理念である「社会に貢献できる企業」に向けて邁進してまいります。